

第2表（小）

学校名 清瀬市立清瀬第八小学校

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- ・毎時間目標に即した評価を行い、学びに向かう力を高め、知識及び技能の定着を図る。
- ・言語能力の向上を図り、「読む力」を高める。
- ・カリキュラムマネジメントの視点で年間指導計画を見直し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・算数習熟度別指導工夫改善加配教員を中心に児童一人一人の習熟に応じた指導を行う。
- ・体力テストの結果等から課題を明確にし、体育の授業を中心に児童の体力向上を図る。

イ 道徳科

- ・各教科及び領域の指導と関連付けた授業を行い、児童の人権感覚や規範意識を養う。
- ・考え、議論する授業を通して児童の道徳的な思考力・判断力、実践意欲と態度を育てる。

ウ 外国語活動

- ・外国語による日常生活に結び付いた対話を中心としての言語活動を重点に置き、外国の言語や文化に対する関心を高め、外国語でのコミュニケーションを図る素地を養う。
- ・ALT や ICT 機器を活用して、児童が多様な言語や文化に触れる機会を設ける。
- ・授業の中で体験的な活動を通して進んで発話する態度や表現力を育てる。

エ 総合的な学習の時間

- ・地域の教育資源を生かした問題解決的な学習を通して、自ら学び、考え、主体的に判断してよりよく問題を解決しようとする力を育む。
- ・問題解決の過程において学校図書館や ICT 機器を活用し、情報活用能力の育成を図る。
- ・図書館等を活用して学ばせ、その成果物として、3年生及び4年生全児童の作品を「図書館を使った調べる学習コンクール」に出品する。
- ・オリ・パラ教育で育む資質「障害者理解」について、「福祉・健康」と関連して学習させる。

オ 特別活動

- ・学級活動、児童会活動等において、集団の一員としてよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする実践的な態度や健全な生活態度を養う。
- ・学校行事を通して、集団への所属感や連帯感をもたせ、協力して物事に取り組んでいこうとする態度を養う。
- ・「学校 2020 レガシー」として特別活動の時間に「ボッチャ」に取り組む。